



屋内用AMパスユニット

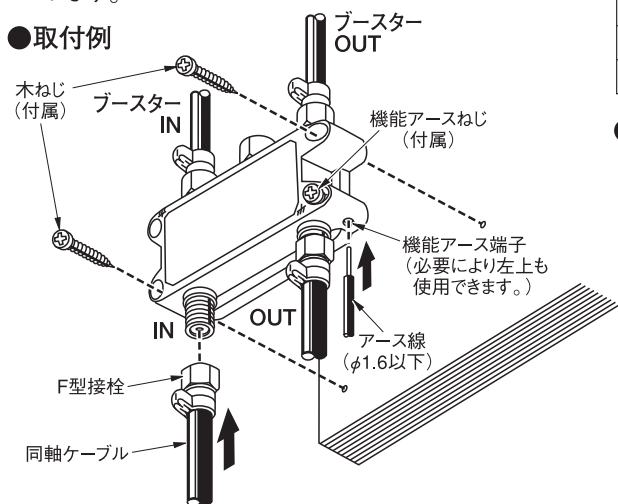
MODEL RS-RP7B

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特長

1. 幹線の途中でFM・VHF・UHF・BS・CS信号だけ取出して増幅器（別売）を挿入して再度入力する機器です。MF（AM）・HF信号は本器のIN-OUT間を通過します。
2. 接栓座とハウジングを一体化した亜鉛ダイカスト製、裏ブタは圧入装着式で、高度のシールド効果が得られています。

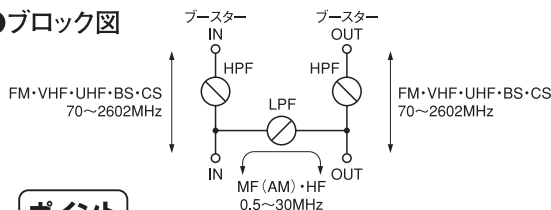
●取付例



■標準性能表

周波数帯域 (MHz)	MF・HF				FM・VHF・UHF・BS・CS			
	0.5~30	70~1489	1489~2150	2150~2602				
通過帯域損失 (dB以下)	1.5	2.0	3.0	5.0				
阻止帯域減衰量 (dB以上)	40	50	50	50				
電圧定在波比 (以下)	1.8	2.0	3.0	3.0				
入力・出力インピーダンス (Ω)	75							
寸法 (mm)	57 (高さ) × 76 (幅) × 20.5 (奥行)							
質量 (kg)	0.1							

●ブロック図



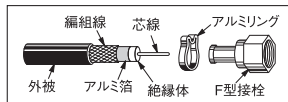
ポイント

- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより大きい場合は、ピン付コネクタをご使用ください。
- 電流通過はできません。
- 付属品として木ねじ、機能アースねじがついています。

●同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法 (付属品)

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称



ポイント

1. カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1mm程度）
 2. 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
 3. 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。
- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにしてください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m (約20kgf・cm)

4. 編組線をめくりあげます。

5. 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。

6. F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

7. 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。

芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



注意

加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

お客様窓口



0570-091039

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社 / 〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221 (大代)

（ホームページアドレス） <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
5104055 平成26年2月